

令和2年7月29日
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

日南・志布志道路の日南東郷IC、油津・夏井道路の(仮)奈留ICのフルIC化に向けた都市計画変更手続きに着手します

- 産業振興や防災支援に資する東九州自動車道の新たなICとして、一般国道220号日南・志布志道路の日南東郷ICは宮崎市方面への乗降、油津・夏井道路の(仮)奈留ICは志布志市方面への乗降が可能なハーフICとして計画していました。
- その後、日南市では、令和2年3月に「日南市重点戦略プラン」に基づく日南東郷IC周辺の企業進出支援や、「日南市国土強靱化地域計画」に基づく大規模災害時の多方面への防災体制強化に取り組むこととなりました。
- また、串間市も同様に、令和2年5月に「串間市国土強靱化地域計画」に基づく大規模災害時の多方面への防災体制強化に取り組むこととなり、令和2年9月には(仮)奈留IC周辺において主要農産物であるかんしょの大規模集出荷貯蔵施設の増設も予定されています。
- これら両市の新たな計画を踏まえ、日南東郷ICは串間市方面への乗降も、(仮)奈留ICは日南市方面への乗降も可能なフルICとして整備することで、速達性の向上による企業誘致等の支援、災害時救急搬送等の支援が期待できます。
- 今回、日南東郷IC及び(仮)奈留ICのフルIC化に向けた都市計画変更手続きに着手することとなったのでお知らせします。

○今回のフルIC化により、期待される効果

- | | | |
|-----------|------------------------------|--------|
| (日南東郷IC) | ・産業振興：工業団地のアクセス性が向上し、事業拡大を支援 | ・・・別紙2 |
| | ・防災支援：災害時の救命救急活動、物資輸送等を支援 | ・・・別紙3 |
| ((仮)奈留IC) | ・産業振興：輸送時間が短縮し、産地間競争力を強化 | ・・・別紙4 |
| | ・防災支援：災害時の救命救急活動、物資輸送等を支援 | ・・・別紙5 |

【問合せ先】 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

技術副所長（道路担当） 猪狩 名人（内線205）

調査第二課長 古原 正人（内線451）

TEL：0985-24-8221（代表） URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

E78 東九州自動車道 一般国道220号 日南・志布志道路 油津・夏井道路



(仮)奈留ICのフルIC化



日南東郷ICのフルIC化



【産業振興】 フルIC化による整備効果

- 日南市重点戦略プラン(令和2年3月改定)に基づき、日南市では、企業進出に向けた工業用地確保に積極的に取り組んでおり、日南東郷IC周辺の日高嶋工業団地や吉野方工業団地では、事業化後に運送業者が進出。
- 今回のフルIC化により、工業団地から多方面へのアクセスが可能となり、長距離貨物の取り扱いを拡充した運送業等の更なる事業拡大、IC周辺における新たな工業団地の造成を支援。

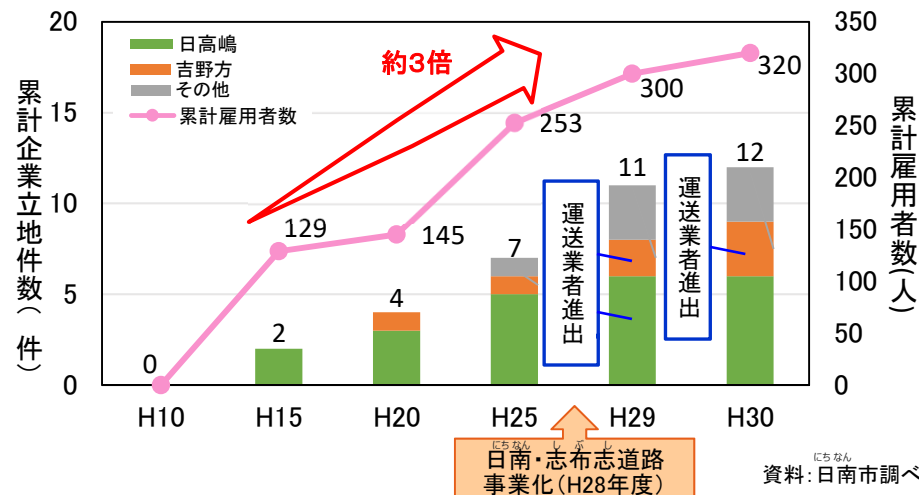


【日南市重点戦略プラン(令和2年3月改定)】



■工業団地の企業立地件数及び雇用者数の推移

- ・事業化後、運送業者が工業団地へ進出
- ・雇用者数は、H15年からH30までで約3倍の増加。



【日南市商工・マーケティング課】

○まとまった土地があれば進出したいという企業の声はよく聞きます。
 ○日高嶋工業団地の完売もあり、東九州道ICの付近に新たな工業団地の造成も検討中です。
 (出典) R1.12ヒアリング結果

(土地利用・都市基盤)

○現状と課題: 東九州自動車道及び油津港の整備は、本市の産業発展に大きな効果が期待されます。
 ○施策: 東九州自動車道や油津港のストック効果を高めるための道路整備及び道の駅等の拠点整備等や工業用地の確保。
 (出典) 日南市HP

【防災支援】フルIC化による整備効果

日南東郷IC

別紙3

- 日南市国土強靱化地域計画(令和2年3月策定)において、大規模災害時における広域的な医療体制整備と迅速な救助活動が求められており、今回のフル化により、高速道路を活用した多方面への救急搬送・物資輸送等を支援。
- 宮崎県及び日南市地域防災計画に位置づけられる地域災害拠点病院(県立日南病院)、航空搬送・物資輸送拠点(日南総合運動公園)を信頼性の高い高速ネットワークで結ぶことで、災害時におけるネットワークの多重性を確保。



広域医療搬送イメージ

【被災が甚大な県(宮崎県)】

地域災害拠点病院



(出典)日南市HP

(重症患者)

航空搬送拠点 **ヘリポート**

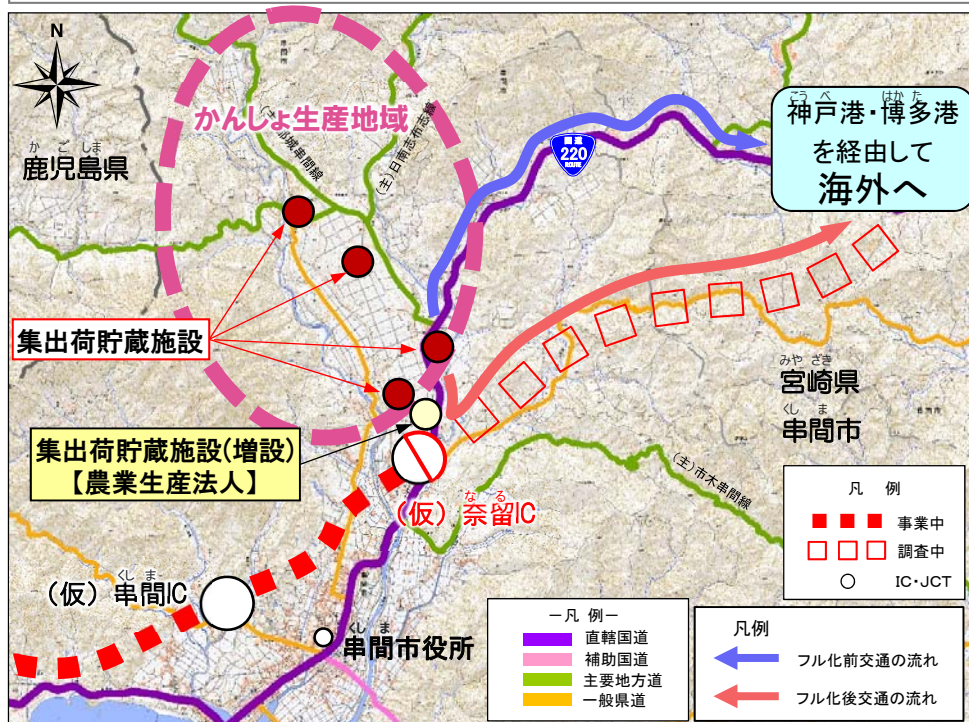


航空搬送

【被災していない県】

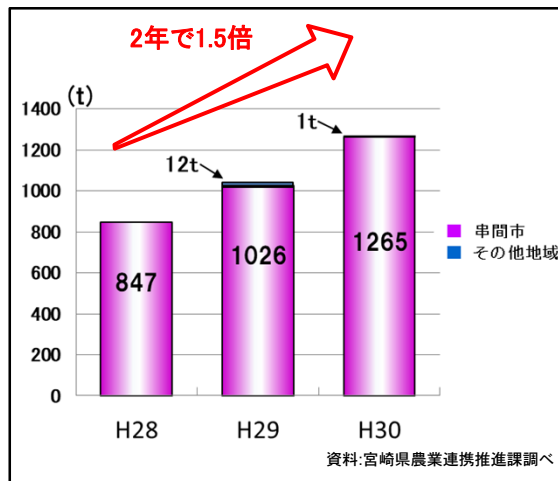
航空搬送拠点

- 串間市は全国有数のかんしょの生産地であり、(仮)奈留IC周辺では、事業化後に大規模な集出荷貯蔵施設(令和2年9月操業予定)が増設されるなど、東九州道の開通を見据えた事業が拡大中である。
- 今回のフルIC化により、集出荷貯蔵施設から海外輸出拠点のある関西方面、福岡方面への輸送時間は短縮され、かんしょ生産地域の産地間競争力の強化と更なる事業拡大を支援。

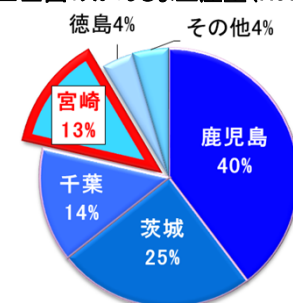


■宮崎県内のかんしょ輸出量

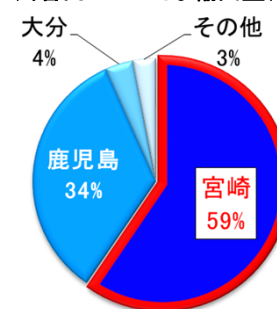
・串間市は県内一、かつ全国でも有数の『かんしょ』の生産地である。
 ・九州管内の『かんしょ』輸出量は、宮崎県が約59%を占め、宮崎県内の『かんしょ』輸出量のうち、約99%は串間市産が占める。



■全国のかんしょ生産量(H30)



■九州管内のかんしょ輸出量(H30)

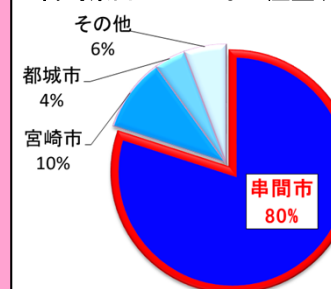


■独自ブランドによる直接販売



(出典)九州農政局HP

■宮崎県内のかんしょ生産量(H30)



- 串間市国土強靱化地域計画(令和2年5月策定)において、大規模災害時における被災地への道路啓開の実効性確保が求められており、今回のフルIC化により、高速道路を活用した多方面への迅速な道路啓開・救助活動等を支援。
- 宮崎県地域防災計画に位置付けられる地域災害拠点病院(県立日南病院)と串間市方面を高速ネットワークで結ぶことで、搬送ルートの確保と搬送時間短縮が図られ、災害時における二次医療圏(日南串間)の医療体制整備を支援。

